



写真：にわか雨のあと 提供：地域連携支援部



着任のご挨拶

事務長 横山 一成

この度、平成30年7月1日付で赴任してまいりました事務長の横山一成と申します。地域の皆様に於かれましては、当院の運営に当たり多大なるご理解とご協力を賜っておりますことに、心より感謝申し上げます。

私事で恐縮ですが、前任地の糸魚川総合病院より赴任してまいりました。その前は三条総合病院にも事務長として勤務しておりまして、今年度で事務長職として10年目になります。出身は長岡市であり、当院には3回目の勤務となります。

さて、当院に於ける私のミッションは、長岡中央総合病院の理念である「地域の中核病院として、皆様の健康を守る為、良質で心温まる医療を提供し、予防・保健・福祉活動を積極的に推進いたします」を実現させるために様々な環境を整備する事ではないかと考えております。まずは、今年度の下半期からのHCU（高度治療室）病棟改修工事並びに放射線治療棟増築工事を完成させ、当院の特徴である、がん診療拠点病院としての体制を強化し、地域の皆様へより高度で、なお且つ安全安心な医療を提供できますよう体制を整えて参ります。よろしくお願い申し上げます。

「大腸カメラって恥ずかしいし、辛くて大変なんでしょう。」 という不安から検査を躊躇されていませんか？

今回は、前回に引き続き病院で行われている大腸内視鏡検査についてお話します。

現在の大腸内視鏡検査は、以前に比べ、前処置薬、スコープの構造や挿入法が確立され、安心して検査を受けられるようになってきました。

検査前日は予約時にお渡しする指導箋を参考に過ごしていただけます。主に、検査の時に腸内を空にするための準備を行います。

食事：市販で売られている検査食か、消化の良い食事をします。

下剤：就寝前に下剤（錠剤）を服用します。

検査当日の午前中に腸管洗浄剤（液体）を服用して腸内が良く見えるように空っぽにします。服用と排便をくり返すと徐々に便が緩くなり、便が水様～透明になったら準備完了です。当日の腸管洗浄剤の飲み方

などは状況や体調により個々に調整可能ですので無理なく準備ができます。腸管洗浄剤で腸の中がキレイになったら検査開始です。

検査は専用の検査室で行いますので他人の目を気にせずに検査が受けられます。ベッドに横になり検査時間はおよそ30分以内です。検査中にポリープが見つければ可能なものはその場で摘除します。

病気を見逃さないようにしていく事が最も重要です。もし検査に対する不安から検査を躊躇され我慢されている方がいらっしゃいましたらお気軽に御相談ください。個々に合った方法で苦痛なく検査を行えるように手記して病気を未然に防いでいきたいと思えます。

記事担当

消化器内科医 野澤 良裕

「介護支援専門員として心がけていること」

厚生労働省の「国民生活基礎調査の概況」で、介護している方々の中でストレスを感じている人が非常に多いという事実が報告されています。

“老々介護で体が思うように動かなく、もどかしい、悲しくなる”、

“仕事や子育てをしながら介護することで疲れている”など年齢や世代別によってストレスの理由は違います。また、介護していく中でお金の問題もストレスになります。

私たち介護支援専門員（ケアマネジャー）はそんな介護者の気持ち、ストレスが少しでも軽減できるように、まずは話を聞くことから始まり、マネジメントし、利用者様とその家族にあった介護保険サービス・総合事業の利用、地域のボランティアの活用を組み入れたケアプランを作成して、日々、利用者様と向き合いながら支援をしています。

病気はいつやってくるかわかりません。介護が必要になるというのも、もしかしたら、明日ということもあります。そんな時の為に、介護保険の制度について知りたい、実際の介護相談を受けたいと考えている方には、少しでも役立つ情報を伝えていきます。

これからも、より良い支援に繋がるように、関わりを大切にしていきます。



記事担当

長岡中央総合病院居宅介護支援事業所 介護支援専門員

放射線科



当科はマルチスライスCT 3台（うち1台は320列CT）、3T MRI 1台（2010年春導入）、1.5T MRI 1台、乳房撮影装置2台、血管撮影装置2台、X線テレビ装置5台、一般撮影装置7台、骨塩測定装置1台のほか、胃部・胸部撮影検診車4台、乳房撮影検診車1台を有し、年間およそ15万件の検査を行っています。また、上記検査の読影の多くに放射線科医が関わっており、系列他病院等からの読影依頼も含め、年間10万件以上の読影を行っています。検査および読影の迅速化をモットーとしており、特殊検査以外は当日検査・当日読影可能な体制をとっています。

放射線治療部門では、最新鋭の放射線治療機器を導入し、新潟大学医学部放射線医学教室の応援を得て、放射線治療専門医による精度の高い治療を行っています。2019年には新治療棟が竣工予定で、さらに高精度な放射線治療のご提供が可能となります。

放射線科では、患者さんの協力を得ながら放射線被ばくを始めとする安全性に十分注意を払って検査・治療を行っています。

記事担当：放射線科 技師長 折笠 康宏

栄養科 ワンポイント コーナー



秋の味覚を楽しもう ～果物について～



秋の味覚と言えば、何を思い浮かべますか？さつまいも、サンマ、新米。他にも柿、梨、りんご、いちじくなどおいしい果物を思い浮かべる方も多いかと思います。

果物にはビタミンC、カリウム、食物繊維などたくさんの栄養素が含まれます。

ビタミンCは、体の抵抗力を高め、風邪予防に役立つほか、コラーゲンの生成を助け皮膚を健康に保つなど、体の調子を整えてくれます。カリウムは血圧を調整する働きがあり、食物繊維は便秘予防の効果が期待できます。

しかし、おいしく体によいからと言って食べ過ぎには注意が必要です。果物には果糖という糖質が含まれているため、食べ過ぎると血糖値の上昇や血中の中性脂肪の増加、体重増加に影響する可能性があります。柿は1個、りんごは1/2個、バナナは1本が1日の適量です。果物を食べる際の目安にしてみてください。体にいいからと言っても、食べ過ぎにならないよう、適量を心掛け、秋の味覚を満喫しましょう。



病院からのお知らせ

✓ 長岡まつり民踊流しへ参加しました

8月1日開催の長岡まつり前夜祭「大民踊流し」へ、今年も約200名の職員が参加しました。浴衣を新調し、数日前から「長岡甚句」の踊り方を練習しました。当日はとても暑くて大変でしたが、長岡まつりを楽しむことができました。



✓ 正面玄関にエントランス・アシスタントを配置しました

来院者のご案内、車いすご利用者の昇降介助を行うスタッフです。患者さんの安全を第一に、車への乗り降りをお手伝いいたします。



✓ 小児科外来に「廃材アート作品」が登場

長岡市主催の作品展等でおなじみの小林武夫先生による廃材アート作品「宇宙観測船ガラクター」の第11号が、先生のご厚意により小児科待合室に展示されています。

この宇宙船は様々な容器などの廃材(すてられるもの)で作られています。廃材とは思えない重厚感!!是非、作品をぐるりと一周ご覧ください!とても夢のある作品です。



✓ 第24回病院祭

テーマ:つなげよう医療・地域の輪
～ひとりみんなのために～

10月20日(土) 午前10時～午後3時、病院祭を開催いたします。同日、中央看護専門学校では市民公開講座を開きます。病院では、多くの催し物をご用意しています。天才マジシャン 渋谷 駿さんのマジックショーや、見附市吹奏楽団ミニコンサートも例年好評です。

